

解答

一

- ① けいい ② かんとう ③ しゃそう ④ わりあい ⑤ のぞ〔く〕 ⑥ 俳優
⑦ 沿線 ⑧ 秘密 ⑨ 垂〔れる〕 ⑩ 染〔まる〕

二

- 問一 ー ウ 2 エ 3 イ 4 ア
問二 ー 鼻 2 手 3 足
問三 ー イ 2 エ 3 ウ

三

- 問一 A I B U
問二 写真に対する優しさ
問三 エ
問四 ウ、オ
問五 エ
問六 心の支え
問七 イ
問八 ア
問九 ウ

四

- 問一 ー I 2 ア 3 エ
問二 「からだ」が自分のものと感じられる（こと）。
問三 人から見られる「からだ」を意識しすぎだから
問四 ウ
問五 ア
問六 ウ
問七 つまり、自
問八 エ

解説

三

- 問二 少し後にある、写真を洗浄している場面に着目します。「次に別の容器に」ではじまる段落にある「要は、丁寧さ——もつと言うなら、写真に対する優しさが、なによりも求められるのだ。」という記述から、大切なものとして「写真に対する優しさ」がぬき出せます。
問九 ——線部⑧の前に「みんな、無事でいてください。きれいになった写真を受け取ってください——。」と心の底から素直に思った光司の様子が描かれています。黙禱のときには、顔も名前も浮かばない人たちの死を、いったいどうやって悲しめばいいのだろうと置いていたことを踏まえて考えると、選択肢ウが選べます。

四

- 問六 ——線部⑤は一度身につけた習慣は変わらないことを言い表しているので、理性や意識としてではなく、自然に身体が動く例が適当です。そのため、「習いたての英語を使って、」という記述を含む、選択肢ウは適当でないことがわかります。
問八 本文では、自分というのは「からだ」に埋め込まれた習慣の堆積であり、「からだ」を通して世界と関わっている」と述べています。そのため「精神のほうがより重要な存在である」という記述を含む、選択肢エが適当

でないことがわかります。